

赤坂山～寒風山行

5月18日（水）

登山グループ 山田栄雄

今回は参加者 14 名のためマイクロバスで実施。行き先は、花の山として知られる赤坂山（824m）～寒風（840m）だ。マキノ高原登山口から急な階段が続き、タニウツギを見ながら登る。登山道沿いにイワカガミが山頂付近まで咲いている。



階段の急登が続く登山道



赤坂山へ向け快適な稜線を行く

赤坂山からの大展望を望み高島トレイルの途中で昼食とした。

昼食後は、快適な稜線歩き。寒風では琵琶湖、滋賀県全体の山々が見渡せる。下山中もブナの林の中でイワカガミがかわいく咲いていた。駐車場の近くでワラビをたくさん採り、無事に帰って来た。今回の山行では、オオバクスマシ、カタクリ、ナナカマド、オオカメ、レンゲツツジ、ミツバツツジ等の多くの花を観察できた。

土田小カタクリ種まき体験

5月19日（木）8:45～11:00

地域支援グループ 柿元章吾

土田小 3 年生約 100 名への自然体験学習の一環。カタクリ群生地でカタクリの種まき体験を行った。数日前に、代表含む 5 名で下見を兼ねてカタクリの種を採取。人数分に小分けして当日



カタクリのお話をする地域支援 G の 2 人

生徒に手渡すだけとした。

当日は、大脇老人会にご協力いただき、事前にマムシの駆除を行い安全に配慮して実施した。

児童たちには、カタクリ群生地の奥にある自然公園手前の広場でカタクリに関するお話をした。現地での事前学習で、より興味を持って種まきを行ってもらうのが狙いだ。

その後、実際にカタクリの種まきを行った。実際に、種をアリが運ぶ様子を観察できた子もいたようだ。しかし、仲間同士で集まってしまう、分散して撒くという狙い通りにはいかない。



カタクリの種を撒く児童

終了後は、岩崎志津子さんによる手作りのゆず入りパウンドケーキが参加会員に振る舞われた。上野啓子さん差し入れのコーヒーと共においしくいただいた。

木橋の保全活動

5月26日（木）9時～11時

環境保全グループ 吉田博行

北回りルートの木橋（通称河童橋）と可児川下流域自然公園の山座川に架かる木橋の保全活動を行った。老朽化を少しでも抑えようと、橋にペーパーをかけて、その後防腐剤を塗布する作業だ。15 名もの方が参加。二班にわかれての作業となった。

可児川下流域自然公園の木橋は、防腐剤も二度塗りができて作業を終えることができた。



カタクリ橋を塗装する

北回りルートの木橋は、老朽化が進んでいる。傷んでいる手すりには交換する段取りも行った。汚れもひどく、苔まで付いていてペーパーをかけるのも苦労した。観光交流課の方には、よく動いていただき助かった。作業は未完、引き続き 6 月 18 日（土）に有志で作業をした。

鳩吹セブン達成!!

5月27日(金)

事務局

佐藤さんの傘寿記念に鳩吹セブンマウンテンに挑戦した。メンバーは、写真左から佐藤正行、芦田典子、千賀徳子、上野啓子の4名。鳩吹山、天神山、桃山、東山、継鹿尾山、大平山、西山を踏破した。



達成記念写真でピース

今年のササユリは

6月上旬

自然保護グループ 笹崎三雄

今年も鳩吹山のササユリ保護区で6月上旬にササユリが開花した。開花数はイノシシの被害の影響で昨年の3分の1程度、12本であった。



登山者は盛んに写真を撮影し楽しんでいる

6月植物観察会

6月4日(土) 9時～

自然保護グループ 笹崎三雄

梅雨はまだ先で好天の今日は参加者6人。あぜ道コースでは田植えが始まり、のどかな風景の中でキキョウソウ、ニワゼキショウを観察、この花のカラフルなデザインが好評だった。



ニワゼキショウの花

城山コースでは登場したばかりの筍を管理者のSさんから頂いた。また、テイカカズラの花の甘い香りがするトンネルを通り抜けるなど楽しめた。木曽川コースではササユリの花は終了で残念。今年は5本が開花。今後が期待できそうだ。



福井平野を一望に

富士写ヶ岳山行

6月15日(水)

登山グループ 山田栄雄

今回の参加者は16名、マイクロバスで実施した。

目的地は深田久弥ふるさとの山、石川県加賀市の富士写ヶ岳(942m)だ。天気は雨のち曇りの天気予報のため登山口につくまで心配したが、雨は大丈夫と判断し登山開始。大内登山口から急な登山道を進むと福井平野が一望でき「素晴らしい」の声があがる。頂上からの眺望を期待したが残念ながら見ることはできなかったが、山頂に方位版があり深田久弥の写真が印刷されていた。昼食後、下山しブナ林の中を歩く。登山道の脇にはササユリがきれいに咲いていた。15時10分に我谷登山口に無事下山した。

大脇ルートに土のうを設置

6月23日(木) 9時～11時30分

環境保全グループ 吉田博行

予想最高気温が30℃で蒸し暑い天候。作業条件は厳しいが18名の会員と観光交流課からも職員が参加した。



土のうの据え替えは重労働だ

10数年前にともの会が設置した土のうが、経年劣化で破れ汚くなっているものを、数年後には土に還るという麻の袋に取り換えるという作業である。

力を合わせて古い土のうの土を麻の袋に入れてそれを元の位置へ置く大変な作業であるが、女性軍が元気で多くもくもくやっている姿には驚かされた。

大脇ルート40番から60番までの間で作業を行い、この間は取り換える作業を終了した。次回は60番から上をやる予定である。

7月植物観察会

7月2日(土) 9時～

自然保護グループ 笹崎三雄

この日は酷暑の中で参加者も少なく4名で開催。あぜ道コースでは、ボタンクサギの大きな花が咲き出しており、好評だった。城山コースでは今の時期を代表するムラサキニガナを観察した。また木苺のコジキイチゴが食べごろで、甘さは少ないがそれなりに美味しく食べられた。木曽川コースでは豪勢な感じがするヤブカンゾウの花や、可愛いネジバナの花を観察した。



美味なコジキイチゴ

これからの活動予定一覧

【環境保全 G 吉田博行】

- 毎月第4木曜：真禅寺 P / 9時集合
- ・8月の活動はおやすみ
- ・9月22日(木)

【登山 G 山田栄雄】

- 毎月第3水曜：帷子地区センター P / 6時集合
- ・8月3日(水) 天蓋山(飛騨市)
- ・9月21日(水) 独鈷山(長野県上田市)

【パトロール G 吉田圭式】

- 毎月第2水曜：真禅寺 P / 9時集合
- ・8月の活動はおやすみ
- ・9月14日(水)

【自然保護 G 笹崎三雄】

- 毎月第1土曜：カタクリ P / 9時集合
- ・8月の活動はおやすみ
- ・9月3日(土)

【事務局・その他】

- 連絡会：土田地区センター / 9時半集合
- ・8月4日(木) ・9月1日(木)

【鳩吹山ともの会 連絡先】

代表 高島 勝

■■■■ (自宅) / ■■■■ (携帯)